



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《米国MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)市場概況》

| | MLP | | 米国株 | | 米国REIT | | 米10年国債利回り | WTI原油先物 (ドル/バレル) | ヘンリーハブ 天然ガス先物 (ドル/百万BTU) |
|-------------|------------|---------|------------|---------|------------|---------|-----------|---------------------|--------------------------------|
| | トータルリターン指数 | 予想配当利回り | トータルリターン指数 | 予想配当利回り | トータルリターン指数 | 予想配当利回り | | | |
| 2020年12月31日 | 812.30 | 11.11% | 7,759.35 | 1.53% | 20,258.86 | 3.36% | 0.91% | 48.52 | 2.54 |
| 2021年5月28日 | 1,141.80 | 7.66% | 8,738.77 | 1.42% | 23,921.42 | 2.87% | 1.59% | 66.32 | 2.99 |
| 2021年6月30日 | 1,200.89 | 7.29% | 8,942.78 | 1.39% | 24,584.10 | 2.82% | 1.47% | 73.47 | 3.65 |
| 前月比 | 5.2% | -0.37% | 2.3% | -0.03% | 2.8% | -0.05% | -0.13% | 10.8% | 22.2% |
| 年初来 | 47.8% | -3.82% | 15.3% | -0.14% | 21.3% | -0.54% | 0.55% | 51.4% | 43.8% |
| 前年比 | 64.0% | -4.48% | 40.8% | -0.50% | 32.8% | -0.83% | 0.81% | 87.1% | 108.5% |

(出所)ブルームバーグ

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

《先月の米国MLP市場の動き》

6月のアレリアンMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)指数は、上昇しました。

上旬は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、行動制限が緩和される中、ガソリン需要が高まるとの見方を背景にエネルギー価格が堅調となったことから、MLP市場は上昇しました。

中旬は、堅調なエネルギー価格を背景にMLP市場は引き続き上昇しました。しかしその後、米連邦公開市場委員会(FOMC)の結果発表を受けて金融政策の正常化が想定よりも早まるとの見方が広がると、MLP市場は下落しました。

下旬は、欧州やアジアなどで新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒が強まったことなどから、MLP市場は上値の重い展開となりました。

《米国MLPトータルリターンおよび配当利回りの推移》

MLP・米国株・米国REITのトータルリターン指数

(2019年末=100)



MLP・米国株・米国REITの配当利回りと長期金利



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年1月2日～2021年6月30日

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

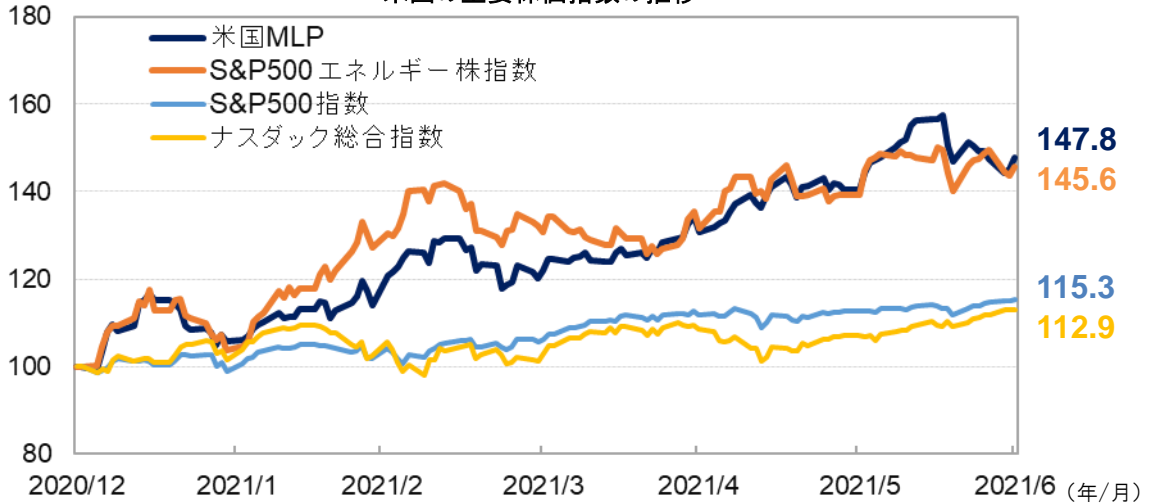


当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《米国MLPは年初来で堅調なパフォーマンス》

- 年初来、ワクチン普及に伴う経済活動の正常化の動きがエネルギー需要の増加につながるとの見方から、米国MLPやエネルギー株は相対的に良好なパフォーマンスとなりました。米国MLPは同期間で約48%の上昇となりました。

米国の主要株価指数の推移



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年12月末～2021年6月末 ※2020年12月末時点をもとに指数化
※米国MLP: アレリアンMLP指数、すべて配当込み

《経済回復がエネルギー企業の追い風に》

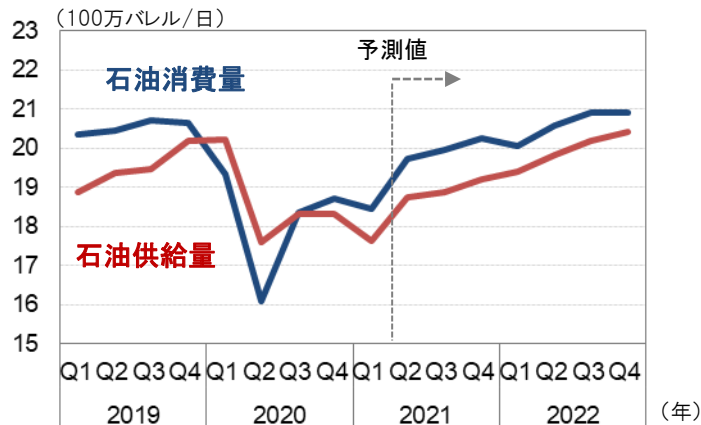
- 5月にOECDが発表した2021年の実質GDPの見通しは世界全体で5.8%と、各国ばらつきはあるもののワクチン接種の進展に伴い回復が加速するとの見方から、3月時点の予測から0.2%上方修正しました。特に米国の成長率は6.9%と強気な見通しを示しており、大規模な景気刺激策の実施やワクチン接種のペースが比較的速いことなどから、3月時点より0.4%上方修正されています。
- 米エネルギー情報局(EIA)の見通しでは、米国の石油消費量はコロナ感染拡大を受けて一時大きく落ち込んだものの、2021年以降は経済回復に伴い、増加することが予想されています。エネルギー需要の拡大は供給量の増加につながることを期待され、こうした動きは中流エネルギー企業にとって追い風になるとみられています。

2021年の実質GDP予測値
(2021年3月と5月時点の比較)

| | 3月時点 | 5月時点 | 修正幅 |
|------|------|------|-------|
| 世界 | 5.6% | 5.8% | +0.2% |
| 米国 | 6.5% | 6.9% | +0.4% |
| ユーロ圏 | 3.9% | 4.3% | +0.4% |
| 日本 | 2.7% | 2.6% | ▲0.1% |

(出所)OECD

米国の石油需給の実績と見通し



(出所)米エネルギー情報局(EIA) (期間)実績: 2019年1Q～2021年1Q、
予測値: 2021年2Q～2022年4Q
※2021年6月時点

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保障するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



《先月の米国MLP・中流エネルギー企業関連ニュース》

- （6月1日）主要産油国で構成される石油輸出国機構(OPEC)プラスは閣僚会合で、協調減産を7月まで段階的に縮小する既定方針を再確認。
- （6月1日）米国のエネルギー輸送大手Energy Transfer LP(ET)は、9億ドル規模の優先株を発行。
- （6月1日）パイプライン輸送・エネルギー貯蔵等の中流エネルギー事業を行うKinder Morgan社(KMI)は、天然ガス・パイプライン合弁企業Stagecoach Gas Services LLCの買収で合意。買収額は12.25億ドル。取引は2021年7-9月期に完了見込み。
- （6月1日）カナダで石油製品およびガス製品輸送事業を行うPembina Pipeline社(PBA)は、同じくカナダの石油・ガスパイプライン会社であるInter Pipeline社(IPL)の買収で合意。株式交換方式による買収額は約83億カナダ・ドル。両社の統合により、カナダ最大規模のエネルギー・インフラ企業が誕生する見込み。
- （6月2日）米国で天然ガスや原油の採取・輸送・貯蔵事業を行うEnable Midstream Partners LP(ENBL)は、米連邦エネルギー規制委員会(FERC)からGulf Run Pipelineプロジェクトの開発・運営に係る承認を受ける。米北東部のシェール生産地域からメキシコ湾岸へ天然ガスを輸送するパイプライン・プロジェクトの開発コストは約5.4億ドルで、2022年末の稼働開始を見込む。
- （6月3日）米国でエネルギー中流サービスを提供するEnLink Midstream LLC(ENLC)は、コモディティ価格の上昇や採掘企業の活動拡大を背景に、2021年の業績予想を上方修正。加えて、ENLCは二酸化炭素の回収・有効利用・貯留(CCUS)プロジェクトを含む環境対応型のエネルギー転換の機会を模索するための社内組織(EnLink Carbon Solutions)を立ち上げ。
- （6月7日）北米を中心に世界各国で原油や天然ガスの輸送及び供給事業を展開するEnbridge社(ENB)は、Noverco社(カナダの石油会社)の少数株主持分をTrencap LPIに11.4億ドルで売却する合意を結ぶ。
- （6月8日）北米で州間・州内のパイプライン輸送および貯蔵業務を行うPlains All American Pipeline LP(PAA)は、天然ガス貯蔵設備をHartree Partnersへ売却することで合意。売却額は8.5億ドル。同取引の完了によりPAAの2021年の資産売却目標(7.5億ドル)は達成され、追加的なフリーキャッシュフローが生まれる見込み。
- （6月9日）カナダのアルバータ州を拠点に北米で天然ガスパイプライン事業を行うTC Energy社(TRP)はキーストーンXLパイプライン・プロジェクトの停止を決定。
- （6月10日）石油精製品や原油の輸送、保管、流通を手掛けるMagellan Midstream Partners LP(MMP)は、米国南東部に位置する石油製品ターミナル26施設をBuckeye Partners LPIに売却することで合意。売却額は4.35億ドル。
- （6月18日）世界各国でインフラ資産を保有、運営を行うBrookfield Infrastructure Partners LP(BIP)は、Inter Pipeline社(IPL)に対する買収提案の条件を引き上げ。6月1日のPembina Pipeline社(PBA)とIPLの間の買収合意が株式交換方式であったのに対して、BIPは100%キャッシュによる買収を提案。